

美的センスを科学する

ご購入はこちら

土居 裕和, 津村 徳道

容姿端麗なヒトは「美しく」、人々は「美しい」風景に心癒やされ、勇敢な行為は「美」徳として褒められたえられます。このように、容姿、芸術作品、あるいは行為の道徳性など、さまざまな形で私たちの前に立ち現れてくる「美」に、人々は魅了されます。

従来、美・魅力を扱う学問分野は、芸術学・美術史学をはじめとした人文社会学系と相場が決まっています。しかし、近年、脳科学・情報工学分野などの、いわゆる理系・自然科学系の研究者らが参入し、美・魅力を感じたときの人間の脳活動測定や美・魅力を生み出す特徴の数量的分析といった、これまでにないアプローチによる美・魅力の研究が展開されています。

かくいう筆者らも、数年前から「美・魅力」をキーワードに、魅力を感じているときの人々の生理反応の簡易測定系開発や、それを用いた美・魅力認知に関する研究に従事してきました。筆者の土居は医学部に所属する実験心理学・脳科学の専門家、津村は工学部所属の画像工学の専門家です。このように、異分野の研究者が手を携えることで、美・魅力に関する新たなパースペクティブが開けつつあります。

本稿の前半では、この新たな美・魅力研究を伝えるため、「人間は、何に対してなぜ、美・魅力を感じるか」についての最新知見を紹介します。「美は見る者の目に宿る」と言われるように、ヒトが美・魅力を感じる対象には大きな個人差があります。いわゆる「好みの違い」というやつです。そこで後半では、美・魅力に対する好みの個人差と、好みを客観的に測定するための技術開発について、筆者らの取り組みを紹介します。

人間はなぜ美・魅力を感じるのか？

万人が「美しい」、「魅力的だ」と感じるものには、どのような特徴があるのでしょうか。そもそも普遍的に美・魅力を感じられるものなど存在するのでしょうか。

旧ソ連から米国に亡命した2人のアーティストが、中国・ウクライナ・米国など10カ国以上の人々を対

Most Wanted and Least Wanted Paintings

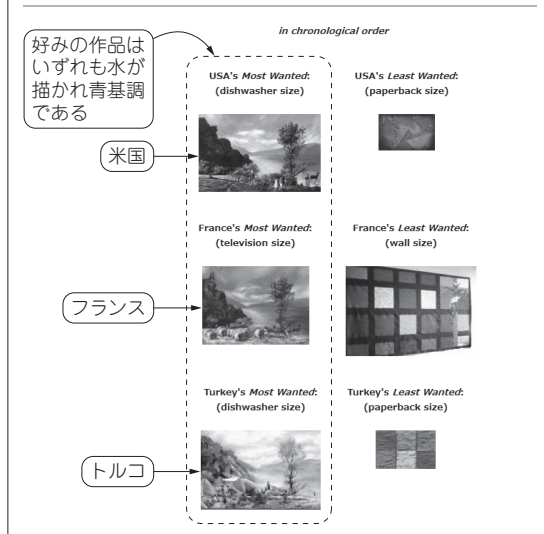


図1 人々が「美しい」「魅力的だ」と感じる作品には共通点がある世界中の人々に愛される作品を描く“Most Wanted Painting”プロジェクトのウェブ・ページによると、水が描かれているか青色が基調の絵が好まれる傾向が見られる。

<http://awp.diaart.org/km/index.html>

象に、どのような絵画が最も好まれるかを調査し、その調査結果をもとに世界中の人々に愛される作品を描くという“Most Wanted Painting”プロジェクトを開始しました(図1)。

<http://awp.diaart.org/km/index.html>

● 水が描かれているか青色が基調の絵が好まれる

各国の人々が好む特徴を備えた典型的な作品を眺めると、幾つかの共通点があることに気づかされます。例えば、どの作品も、水(湖、海)が描かれているか、もしくは青色が基調になっています。また、遠くまで見渡せる開けた場所や、身を隠すことのできる茂み、あるいは、花や果実が描かれている点も多くの作品に共通しています。